

## 仕分け委員指摘事項

番号	B-2	事務事業名	シルバー人材センター事業	担当課	福祉総務課
----	-----	-------	--------------	-----	-------

仕分け区分	仕分け理由	判定人数 (複数選択有)
<b>2. 民間</b>  2人	①既に行政の役割を終了	( 1 人 )
	指摘事項 ・「新しい公共」の中で、出来る限りNPOなど民間も入れていく、ということなので「2. 民間」にした。厚生労働省の仕分けでも「民間委託」にすべきとの結果が出ており、民間の方向にもっていかうとする意思が働いている。	
	③民間の方がより効果的・効率的に実施可能	( 2 人 )
	指摘事項 ・シルバー人材センターに市が補助金を充てるより、民間やNPO等に任せの方が効率的な仕事出来るのではないか。	
<b>6. 東久留米市 (改善有)</b>  3人	②事業規模を縮小すべき	( 1 人 )
	指摘事項 ・人件費等の支出を抑えるべき。有能なサラリーマンの活用を検討されたい。	
	③自主財源確保の努力（料金改定など）	( 1 人 )
	指摘事項 ・自主財源確保の努力については、業務範囲を拡大し、専門的な部門に踏み込んで良いのではないか。	
	⑥パートナー事業化（新たな公共の担い手など）	( 1 人 )
	指摘事項 ・他団体等と協力した起業・事業開発に力点を置くべき。制約を超えた事業拡大を図るべき。	
	⑦その他	( 2 人 )
指摘事項 ・質疑応答で「市補助の人件費分の削減に努めている」ということなので、その継続と、さらなる改善を望む。 ・どうみても効率的な経営とは思えない。大きい人件費を圧縮し、それが出来なければ業務範囲を拡大し、業務を確保してはどうか。		

**〈担当課の考え方〉**

- ・市からの補助金額を可能な限り削減し、市財源への依存体質を変える努力を求めていく考えです。
- ・民間団体として、今後、自主財源の確保に努めるよう指導・支援していきます。
- ・国の仕分け並びに東京都の事務事業評価の結果を勘案して方向性を検討していきます。